

2021年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
エンタテインメント1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬 眞之			実務経験	有	職種	音楽家				
授業概要											
卒業後学生自身で様々なジャンルのコーラスアレンジや仮歌に対応できる知識、歌唱法を学びます。コーラスアレンジは主に楽曲のコード進行を把握し、キーボードを用いてラインを作っていきます。仮歌に関しては少ない情報の中で短時間でメロディを覚える対応力を養います。											
到達目標											
初見の楽曲にコーラスアレンジができる等のコーラス2においてのグレードに準じて授業を行います。ミュージシャンとしての応用力を技能として体得することを到達目標にしています。											
授業方法											
90分授業の最初10分程度は腹式呼吸、ウォーミングアップの発声時間とします。その後所見の課題曲のメロディを素早く覚え、コーラスラインをキーボード、またはギター等を使いながらコードを把握し耳コピーします。慣れてきたら別の所見の楽曲のコーラスアレンジをしていきます。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
コーラス2はボーカルコースにとって最も重要な授業の1つである為、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	コーラスについて その役割やポジションについての考察										
第2回	様々な楽曲からみるコーラスのつけ方の研究										
第3回	所見の楽曲のコーラスラインを自分でアレンジする										
第4回	どのポイントでコーラスを付けていくか考える										
第5回	コードトーンとメロディーの関わりを理解する										
第6回	既存曲に対し、地ハモを3度で付けてみる										

2021年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
エンタテインメント1	
第7回	メロの上でハモる方法の理解
第8回	メロの下、及び上でメロをはさむ方法の実践
第9回	既存曲に対し、ウーアーを5度で付けてみる
第10回	5度の効果について理解する
第11回	メロの上で5度でウーアーを入れる方法の理解
第12回	メロの下で5度でウーアーを入れる方法の理解
第13回	既存曲に実際にコーラスを入れてみる
第14回	3声を入れるサビポイントを指定し、そこにハモを入れる
第15回	前期の発表会